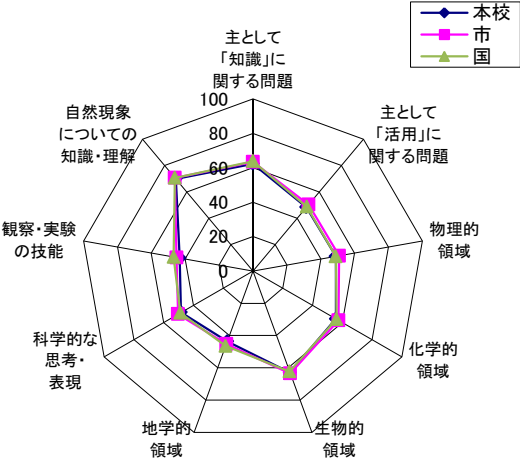


宇都宮市立陽南中学校 第3学年【理科】分類・区分別正答率

★本年度の国、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
枠組み	主として「知識」に関する問題	62.3	63.3	63.8
	主として「活用」に関する問題	48.3	50.3	48.8
分野等	物理的領域	48.9	50.9	48.9
	化学的領域	55.7	57.5	56.2
	生物的領域	62.9	63.4	62.2
	地学的領域	43.7	45.2	46.4
観点	自然現象への関心・意欲・態度			
	科学的な思考・表現	48.3	50.3	48.8
	観察・実験の技能	43.2	45.1	46.8
	自然現象についての知識・理解	69.9	70.6	70.6



★理科に関する質問紙調査の状況

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

- 自然の中で遊んだことや自然観察をしたことがある生徒の割合は、全国に比べて9.1ポイント高い。
- 理科の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えている生徒の割合は、全国に比べて6.5ポイント高い。
- 理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思ってる生徒の割合は、全国に比べて8.7ポイント高い。
- 理科の授業で、自分の考えや考察をまわりの人に説明したり発表したりしている割合は、全国に比べて1.4ポイント低い。

★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の改善
物理的領域	○日常生活の中で音の高さの波形の特徴を指摘する問題では、全国に比べて13.7ポイント、県より5.6ポイント上回っている。 ●凸レンズによってできる像の規則性を指摘する問題では、全国に比べて11.8ポイント、県より10.9ポイント下回っている。	・凸レンズのによってできる像の規則性については、グループ実験を行い確認しているが、理解の定着につながっていない部分が見られる。事例を示しながら演習を繰り返し、知識を確実に習得させていくことが必要である。
化学的領域	○水上置換法では二酸化炭素の体積を正確に量れない理由を説明する問題では、全国に比べて9.3ポイント、県より3.0ポイント上回っている。 ●ベーキングパウダーの原材料で、気体の発生に関係しているのが炭酸水素ナトリウムであることを特定する問題では、全国に比べて4.4ポイント、県より4.3ポイント下回っている。	・対照実験について事例を示してよく整理し、問題の原因になっているものを見つけ出す能力を伸長していくことが必要である。
生物的領域	○デンプンが消化酵素によって分解された物質名の理解については、全国に比べて7.7ポイント、県より6.4ポイント上回っている。 ●課題に対して適切な考察になるよう修正する思考力を問う問題では、全国に比べて4.2ポイント、県より3.2ポイント下回っている。	・実験や観察の中で得られた結果より、自ら考察したり、グループで話し合ったりするなどの言語活動を通して、思考力の育成に取り組んでいく必要がある。
地学的領域	○気圧の変化で菓子袋が膨らむことについてモデルを使った実験を計画する問題では、全国に比べて3.7ポイント、県より5.5ポイント上回っている。 ●天気図から風力を読み取る問題では、全国に比べて6.8ポイント、県より5.4ポイント下回っている。	・実際の天気図について記号の読み取りが不十分であるので、事例を示しながら演習を繰り返し、知識を確実に習得させていくことが必要である。